

小林正則小平市長殿

令和2年6月18日

要 望 書

小平市議会公明党

31.9兆円といわれる国の第二次補正予算が6月12日に成立しました。

この補正予算については、第一次補正予算の「足らざるところを手当する」内容を評価しつつ、基礎自治体の使命として、制度のはざまに立たされている人あるいは申請をためらう人の無いようわかりやすい広報も重要と考えます。

第一次補正予算の市に対する交付金を生かした家賃補助などは、注目が集まりました。しかしながら、手続きの簡素化とスピードの倍加を願う声が多く聞かれたことも事実です。

その意味から、先んじて行う市の独自施策も重要であり、コロナ禍のなかで必要な人に、必要な支援が届くよう、以下の項目について要望します。

市報のコロナ臨時特集号の発行

- 第一次補正予算や第二次補正予算での制度について、連絡先も網羅した周知

例えば、家賃給付金や一人親家庭支援金など

- 特別定額給付金を市内で消費してもらうキャンペーン等の周知

給付金等の直接支援策

- 離婚協議中などの理由で、世帯主配偶者からの養育費不払い、児童手当、児童扶養手当、子育て世帯や低所得ひとり親世帯への臨時特別給付金の加算
- 市の家賃支援制度の対象を、確定申告を雑所得、給与所得として申告したフリーランスや個人事業主に拡充
- 緊急包括支援交付金を活用した市内医療機関等の医療、介護、障がい福祉従事者への慰労金の支給と感染予防対策備品の購入支援
- 小平市独自で、国の特別定額給付金を受け取れない4月28日以降に生まれた子どもを対象に臨時特別出産祝金の支給。(ゆりかごこいだいら事業で上乗せする1万円)
 - 例 4月27日の時点で妊娠が判明しており、出産後、申請日まで引き続き小平市に住民登録を有する母親に対して
- 国の児童扶養手当を受給しているひとり親世帯に対する市独自の加算支給(一人一万円)

- 生活保護世帯の特別定額給付金の申請についてはケースワーカーの申請支援とフォロー体制の強化
- 売上が前年度と比較して20%～50%減少している、介護事業所、障がい事業所への業務継続支援事業を、6月以降も年度内の継続実施
- 新しい生活様式に対応する店舗等の販売設備に対する市独自補助

子育て支援関連

- 子育て世帯支援策として図書カードの進呈(昭島市は1万円分)
- 休業要請が発令された際の学童クラブ費用の日割り徴収
- 学校施設スポーツ開放事業の開催期日(現7月31日)を早める検討
- 学生支援策でひとり暮らし学生に給付金や商品券等の支援。

健康施策

- 廃棄物収集事業者、処理事業者等の熱中症対策の支援
(飲料水の寄附、差し入れ等)
- エッセンシャルワーカーへの感謝メッセージの市報1面への掲載
- インフルエンザ予防接種費用助成対象の拡充
- 緊急事態宣言下での接種控に対する定期予防接種の期限延長

避難所関連

- 避難所となる学校体育館への空調設備の計画的導入
- 感染拡大防止のための避難所備蓄対策として防災備品を拡充。
非接触型体温計やマスク、フェースシールド、消毒液、パーテーション付き段ボールベッド、防護服、ダンボール等の感染症対策用備品の充実
- 在宅避難者や避難所への自家用車避難を想定した地域防災計画の見直しと各避難所運営マニュアルへの項目追加と全避難所での早期策定

学校関連

- 学校行事開催の工夫、検討、実施
- ギガスクール構想へ向けてのICT支援員の配置等人的支援員の確保
- アフターコロナに即した学習環境の改善
少人数化と退職教員の活用含む教員の加配
学習指導員、スクールサポートスタッフの増員